

平成24年度病害虫発生予察特殊報第3号

平成24年10月18日
栃木県農業環境指導センター

クロメンガタスズメの発生について

1 害虫名：クロメンガタスズメ *Acherontia lachesis* (Fabricius)

2 発生物名：なす、トマト

3 発生経過

平成24年10月に県北部のなすほ場においてチョウ目幼虫による食害が発生し、県農業試験場病理昆虫研究室によって本種と確認された。本種は、西日本を中心に各地で記録があり、茨城県、埼玉県、東京都（小笠原村父島）で農作物等への被害発生が確認されている。

なお、本県では平成22年に小山市のたばこほ場（今井ら，2011）、平成23年9月に県北部のトマトほ場（家庭菜園）で発生が確認されている。

4 被害の特徴

なすやトマト等の葉を主脈を残して食い尽くすなど、発生時の被害量は大きい。

5 形態

成虫は開長約100～125mmで胸部背面に灰色の人面模様を持つ（図1）。幼虫は終齢で体長約100mm、体色は変化に富み、S字状に湾曲した尾角は小突起を持つ（図2）。



図1 クロメンガタスズメ成虫



図2 トマトの葉を食害する幼虫

6 生活史・生態

幼虫は6～10月にナス科、ゴマ科、マメ科など多種の植物で発生する。

7 防除対策

現在、本種に登録のある農薬は無いため、糞や食害を目安に幼虫を見つけ捕殺する。

8 引用文献

今井利宏・笠石義広・原田晴康・高橋竜太・倉持恵子（2011）応動昆.55: 65-67.

詳しくは、農業環境指導センター(<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>)までお問合せ下さい。

Tel (028) 626-3086 Fax (028) 626-3012